

不祥事ゼロに向けた取組【一人一人が「自分事として考える」】 R.6.8.1

(文責 大子町立上小川小学校長 長山 芳子)

学校は児童にとって多くのことを学ぶ大切な場所です。そのため、児童にとって安全・安心な場所であってはなりません。私たち教職員は、教育活動は、児童や保護者、地域の皆様の信頼のもと成り立つものと考えています。

しかし、日々の報道でもあるように教職員の不祥事が続いています。本校では、このことを他山の石とせず、すべての教職員が、不祥事を自分事としてとらえ、自分の行動が教育全体に影響することを強く意識し、不祥事ゼロに向けて、行動していきます。

1 令和6年度コンプライアンス研修年間計画

月	内容	月	内容	月	内容
5	サービス規程	8	健康保健安全	12	飲酒運転
6	体罰の禁止	9	体育的活動	1	情報管理
7	学校徴収金	10	パワーハラスメント	2	セクシャルハラスメント
7	盗撮（臨時）	11	クレーム対応	3	交通事故

2 教職員による盗撮等の根絶に向けた研修の様子



3 研修資料

茨城県教育庁通知資料「One IBARAKI (14号・15号)」

4 教職員の意見等

- ・教職員の不祥事が起こると学校に通う子ども達の不安に繋がる。自分たち教員も気持ちよく働くことができない。誰も幸せにならない。
- ・不祥事のニュースが出る度にコンプライアンスの研修受講の機会があったが、無くならないのが残念。
- ・不祥事は身近に潜んでいる、このことを強く受け止め、常に自分事として捉えてこれからの業務に励んでいきたい。

5 対策内容

- か**ぜ通しの良い職場環境（お互いの言動を確認し合える人間関係づくりをします。）
- み**んなで高めよう、人権意識（相手を傷けない、言葉遣いに心がけます。）
- お**ちついて自分の安全、自分で守る（時間に余裕をもって、よく考えて行動します。）
- が**っこう以外でも教職員として自覚(学校以外でも社会人として信頼される行動をします。) 不審物や**わ**かんに気付きやすいように、整理整頓（校舎内、机の上も整理整頓します。）